

団体名	環境体験学習地域支援者ネットワーク		
団体の所在地	明石市	代表者名	丸谷 聡子

1. 事業名	環境体験学習地域支援者のスキルアップを図る組織の立ち上げ
2. 実施期間	平成25年4月 1 日～平成26年 3 月31日
3. 主な実施場所	神戸市・明石市
4. 活動形態	団体立ち上げ
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・未参加の地域支援者に本ネットワークへの参加を呼び掛けて、現在57名が参加している。 ・組織等を検討し、役員、役割分担、会費等を決めた。 ・連絡・情報交換方法を充実するためメーリングリストを構築し会員を登録した。 ・地域支援者のためのスキルアップ研究会・情報交換会を3回開催し、ノウハウの習得と共有、支援者の拡大を図った。 9月22日(日) 講師:朝岡幸彦氏(東京農工大教授) 参加者:29名 10月20日(日) 講師:川島直氏(Keep 協会) 参加者:20名 2月22日(土) 講師:丸谷聡氏(福島県) 参加者:12名 ・環境体験学習地域支援者(会員外を含む)のための情報紙発行。(会員のほか、兵庫県環境政策課等関係個所に配布した。) ・研修用機材(ハンドマイク)の整備
6. 成果・反響・ 反省点等	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の確立と活動を軌道に乗せることができた。 ・定期的にスキルアップ研究を実施することで、より効果的な環境体験学習支援が可能になった。 ・情報交換の場で課題を共有することで、その解決方法を共に考え改善していくことができた。 ・個人や団体がつながっていくことで、新たなコラボレーションやプログラム実施が可能になるなどの相乗効果が生まれた。 ・ESDの視点を持つ地域支援者が増え、地域のキーパーソンとなることで、持続可能な社会への転換に向けての推進力が高まった。 ・環境教育のエキスパートを講師としたため、多忙な講師との日程調整が難しかった。2回のスキルアップ研究会の日程(9月・10月)が接近しての開催になってしまった。今後はもっと広報に力を入れていきたい。
7. 成果物	情報紙の発行

8. 活動写真・説明





スキルアップ研究会&情報交換会を3回実施